

所沢管理事務所管内
R 7 年度橋梁補修設計

特記仕様書

令和 7 年 7 月

東日本高速道路株式会社
関東支社 所沢管理事務所

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 所沢管理事務所管内 R7年度橋梁補修設計

1-1-2 路線名 関越自動車道
首都圏中央連絡自動車道（一般国道468号）

1-1-3 履行箇所 関越自動車道
自）東京都練馬区三原台 （K P 0.0 練馬 I C）
至）埼玉県本庄市児玉町下浅見 （K P 69.7 本庄児玉 I C）
首都圏中央連絡自動車道（一般国道468号）
自）東京都あきる野市牛沼 （K P 47.6 あきる野 I C）
至）埼玉県比企郡川島町大字平沼 （K P 85.9 川島 I C）

1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目	数量	橋梁名
試料採取	9箇所	砂川橋、大井橋、今福高架橋、久保川橋、共栄橋、高麗川橋、越辺川橋、高坂S A 2号橋、石橋高架橋、小山川橋、今井高架橋、牛沢橋、上伊草高架橋
塩分浸透量調査	36試料	
腐食減肉調査	19箇所	
現地踏査	1式	
維持修繕設計 支承	12箇所	
維持修繕設計 伸縮装置取替設計	6枚	
施工計画検討	12橋	
工事発注用図面作成	31枚	
工事発注用数量表作成 工事目的物別数量総括表	2工事	
工事発注用数量表作成 工事目的物別代価表	2工事	
設計打合せ	1式	

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和7年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- （1）受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- （2）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- （3）完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。
なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-13-1「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式-1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余 裕 期 間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 120 日間（まで）
全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 570 日間（まで）

1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1「資料の貸与」に示す貸与資料は、一覧に示すとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱いが監督員と受注者との協議の上決定するものとする。また、資料の復元等を要する場合は、監督員と協議し定めるものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
橋梁完成図	—	契約締結後貸与	電子データ (T I F F 等)
保全点検資料	—	契約締結後貸与	電子データ (P D F ・ C A D 等)
光通信ケーブル等 管理用図面	—	契約締結後貸与	電子データ (P D F ・ C A D 等)
設計成果品	関越自動車道 所沢管内橋梁補修検討業務	契約締結後貸与	電子データ (P D F ・ C A D 等)

1-6 部分引渡し

契約書 38 条の「指定部分」及びその引渡し時期は下表のとおりとする。

指定部分の成果品項目	橋梁名	引渡し時期
腐食減肉調査	砂川橋	令和 8 年 9 月末
維持修繕設計 支承 A	久保川橋	
維持修繕設計 支承 B	高麗川橋	
維持修繕設計 伸縮装置取替設計	石橋高架橋	
施工計画検討 A	小山川橋	
施工計画検討 B	今井高架橋	
工事発注用図面作成 詳細図作成 A	牛沢橋	
工事発注用図面作成 詳細図作成 B	上伊草高架橋	
工事発注用数量表作成 工事目的物別数量総括表		
工事発注用数量表作成 工事目的物別代価表		

1-7 部分使用

共通仕様書 1-35 「部分使用」の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表のとおりとする

内容	橋梁名	使用理由	使用開始時期
工事発注用図面作成 詳細図作成 A	高麗川橋	河川管理者との協議に使用するため	令和 8 年 5 月末
工事発注用図面作成 詳細図作成 B	越辺川橋	河川管理者との協議に使用するため	令和 8 年 1 1 月末
	小山川橋	河川管理者との協議に使用するため	令和 8 年 5 月末
施工計画検討 A	高麗川橋	河川管理者及び規制協議に使用するため	令和 8 年 5 月末
	越辺川橋	規制協議に使用するため	令和 8 年 1 1 月末
施工計画検討 B	大井橋、今福高架橋、共栄橋	規制協議に使用するため	令和 8 年 1 1 月末

1-8 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

(1) 道路関係

位置	路線名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
砂川橋 A 1 - A 2	上富 6 9 号線 上富 7 0 号線 上富 2 4 3 号線 上富 2 5 8 号線	三芳町	施工時制約が発生する場合、規制協議等を実施	令和 8 年 5 月末
大井橋 A 1 - A 2	県道さいたまふじみ野 所沢線 県道狭山ふじみ野線	埼玉県 川越県土整備事務所	本業務の部分使用成果品に基づき、規制関係協議を実施	令和 8 年 1 1 月末
今福高架橋 P 8 - A 2	県道川越所沢線	埼玉県 川越県土整備事務所	本業務の部分使用成果品に基づき、規制関係協議を実施	令和 8 年 1 1 月末
久保川橋 P 1 - A 2	市道 6 1 6 9 号線	川越市	施工時制約が発生する場合、規制協議等を実施	令和 8 年 5 月末
共栄橋 A 1 - A 2	市道 7 5 8 号線	鶴ヶ島市	本業務の部分使用成果品に基づき、規制関係協議を実施	令和 8 年 1 1 月末
高麗川橋 P 7 - A 2	県道川越坂戸毛呂山線	埼玉県 飯能県土整備事務所	本業務の部分使用成果品に基づき、規制関係協議を実施	令和 8 年 5 月末
越辺川橋 A 1 - P 1	河川管理用道路	国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所 越辺川出張所	本業務の部分使用成果品に基づき、規制関係協議を実施	令和 8 年 1 1 月末

越辺川橋 P 6－A 2	県道石坂高坂停車場線	埼玉県 東松山県土整備事務所	本業務の部分使用成果品に基づき、規制関係協議を実施	令和8年11月末
今井高架橋 P 21－A 2	主要地方道瑞穂富岡線	東京都 西多摩建設事務所	施工時制約が発生する場合、規制協議等を実施	令和8年5月末

(2) 河川、水路関係

位置	河川・水路名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
砂川橋 A 1－A 2	砂川堀雨水幹線	埼玉県 荒川右岸下水道事務所	施工時制約が発生する場合、関係協議を実施	令和8年5月末
高麗川橋 P 5、P 6	一級河川高麗川	国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所 越辺川出張所	本業務の部分使用成果品に基づき、河川関係協議を実施	令和8年5月末
越辺川橋 P 5－P 6	一級河川越辺川	国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所 越辺川出張所	本業務の部分使用成果品に基づき、河川関係協議を実施	令和8年11月末
石橋高架橋 A 1－P 1	用排水路	東松山市	施工時制約が発生する場合、関係協議を実施	令和8年5月末
小山川橋 P 1－P 2	一級河川小山川	埼玉県 本庄県土整備事務所	本業務の部分使用成果品に基づき、河川関係協議を実施	令和8年5月末

(3) 電力、通信施設関係

位置	施設名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
全調査範囲	メタル通信ケーブル・電源ケーブル	東日本高速道路㈱	埋設及び添架	令和8年5月末
	光通信ケーブル	KDDI ㈱ 東日本高速道路㈱	埋設及び添架	令和8年5月末

(4) 隣接施設

位置	施設名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
高麗川橋 P 6－P 7	民家	—	施工時制約が発生する場合、民家保有者と協議を実施	令和8年5月末

1－9 計画工程表

1－9－1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1－14－1 「作業計画書の提出」 (2) に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式 2）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1－5 「資料の貸与」 に示す資料の貸与時期、本特記仕様書 1－7 「発注者または監督員が行う協議」 に示す協議完了予定時期、共通仕様書 1－9－3 「照査の実施」 に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1－22 「打合せ」 に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種別	工種	作業単位	備考
現地踏査	—	砂川橋、大井橋、今福高架橋、久保川橋、共栄橋、高麗川橋、越辺川橋、高坂S A 2号橋、石橋高架橋、小山川橋、今井高架橋、牛沢橋、上伊草高架橋	
調査業務	試料採取及び塩分浸透量調査、腐食減肉調査		
設計業務	維持修繕設計		
	施工計画検討		
	工事発注用図面作成		
	工事発注用数量表作成		
設計打合せ	—		
報告書作成	—		

1-9-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書1-2-2「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第1-4号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書1-1-4-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1-1-0 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書1-2-2「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後7日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後7日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1-1-1 工事記録情報の作成及び提出について

(1) 共通仕様書1-4-4-1「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和6年7月版とする。

(2) 受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式-3）を調査等完了届提出予定の2週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

(3) 工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路㈱関東支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1-1-2 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者との協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、所沢管理事務所管内の橋梁において損傷状況を本特記仕様書1-5「資料の貸与」に示す貸与資料をもとに確認し、「設計要領第二集（橋梁保全編）」に基づき、既設橋梁の設計条件を整理し、当該現地条件において施工性、経済性の観点から補修設計及び補修工法の選定、施工計画検討を行うものである。また、設計にあたっては、共通仕様書第5章「設計」及び第7章「維持修繕設計」の適合項目を適用する。

2-2 適用すべき諸基準

共通仕様書5-2-1「適用すべき諸基準」に下表を追加する。

名称	発行元	発行年月
請負工事における適正な工期設定ガイドライン	東日本高速道路㈱	令和6年7月
工程作成の手引き（橋梁編）	東日本高速道路㈱	令和6年7月
腐食減肉に対する鋼橋の維持管理マニュアル	東日本高速道路㈱	令和6年7月
調査要領	東日本高速道路㈱	令和6年7月
土木設計数量算出要領	東日本高速道路㈱	令和6年7月
設計要領第二集（橋梁保全編）	東日本高速道路㈱	令和6年7月

2-3 試料採取

試料採取とは、既設コンクリート構造物から試料を採取することをいう。

なお、現地作業については地上又は既設点検路等を使用して行うものとする。現地条件等により別途、足場や高所作業車、交通規制等が必要となった場合は、監督員と協議し、その費用について別途協議するものとする。

試料採取の種別は次のとおりとし、検測数量は試料採取した箇所とする。

単価区分	区分内容
試料採取	1箇所当たり深さ8cmとし、2cm毎の深さで4試料を採取するもの

対象橋梁と試料採取箇所は、下表のとおりとする。

橋梁名	調査場所	調査数量	調査条件
共栄橋	埼玉県鶴ヶ島市	4	昼施工
越辺川橋	埼玉県坂戸市	5	昼施工

2-3-1 調査

- (1) 試料採取の位置について、参考図等 to 示すとおりとし、その詳細な位置については監督員と受注者で協議のうえ、決定するものとする。
- (2) 試料採取にあたっては、鉄筋探査を実施し既設鉄筋を切断しない位置を設定するとともに、配筋状況及びかぶり厚さを確認し、記録するものとする。
- (3) 試料の採取方法は、調査要領 第二編橋梁 第3章コンクリート「1-3-2 (1) 塩害対策」のドリル法によるものとし、採取した試料を試料収集用袋に回収し、計測器で採取量を計測する。
- (4) 試料採取量は、1試料当たり50g以上とする。採取量が足りない場合は、対象の層を追加・削孔し、再度計量を行うものとする。
- (5) 試料採取に合わせて、削孔箇所での中性化深さ測定（フェノールフタレイン1%溶液の噴霧）を行い、結果を監督員に報告するものとする。
- (6) 試料採取後は、ブラシ等を用いて孔内に残った粉を清掃し、断面修復材にて修復するものとし、使用する材料は、構造物施工管理要領Ⅲ-3-3-4「断面修復の要求性能」及びⅢ-3-3-5「断面修復の性能照査」の規定に適合するものでなければならない。

2-4 塩分浸透量調査

塩分浸透量調査とは、本特記仕様書2-4「試料採取」にて採取した試料を用いコンクリート中に含まれている塩分量を測定するために分析を行うものである。

塩分浸透量調査の種別は下表のとおりとし、検測数量は塩分浸透量調査を実施した数量（試料）とする。

単価区分	区分内容
塩分浸透量調査	①塩化物イオン濃度分析 J I S A 1 1 5 4「硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験方法」に伴い、コンクリート中の全塩化物イオン濃度を分析する ②塩分移動量予測 塩分移動量予測を実施する ③報告書 上記①、②の結果を監督員へ報告する。

2-5 腐食減肉調査

腐食減肉調査とは、参考図に示す橋梁点検の結果を基に、調査要領 第二編橋梁 第2章鋼「1-3-2 調査方法（2）腐食減肉」に基づいて調査し、その結果を取りまとめることをいう。なお、現地作業については地上又は既設点検路等を使用して行うものとするが、現地条件等により足場や高所作業車、交通規制等が必要となった場合は、監督員と協議し、その費用について別途協議するものとする。

調査箇所は下表のとおりとし、検測数量は調査した箇所とする。

橋梁名	調査場所	箇所	調査範囲 (m2)	調査条件
越辺川橋	埼玉県東松山市	2	0. 2 4	昼施工
小山川橋	埼玉県児玉郡美里町	7	1 0. 6 9	昼施工
牛沢橋	埼玉県入間市	1 0	1 1. 9 9	昼施工

2-6 現地踏査

受注者は、契約締結後、貸与する既存資料を確認したうえで現地を踏査し、本業務に必要な現地の状況を把握しなければならない。なお、現地踏査の結果、現地状況が既存資料と相違している場合及び変状が著しい場合には、速やかに監督員に報告するものとする。

現地踏査については地上又は既設点検路等を使用して行うものとするが、現地条件等により足場や高所作業車、交通規制等が必要となった場合は、監督員と協議し、その費用について別途協議するものとする。

現地踏査の検測数量は、一式とする。

2-7 維持修繕設計 支承

維持修繕設計 支承とは、損傷により取替もしくは補修が必要な支承について、共通仕様書7-3-3（1）橋梁附属物設計に示す設計内容を「設計要領第二集（橋梁保全編）」に基づき実施することを行う。この設計には、支承取替もしくは補修に必要なすべての設計計算、図面作成、数量計算を含むものとする。

維持修繕設計 支承の検測数量は、設計を行った支承の箇所とする。

2-7-1 設計の基本

支承の設計は「設計要領第二集（橋梁保全編）6.3、6.6」によるものとする。ただし、本業務において実施する取替設計は、既設支承と同等の支承を用いて取替することを基本とする。

2-7-2 上下部構造の補強

支承の取替にあたっては、「設計要領第二集（橋梁保全編）6.7」により、上下部構造の補強の必要性について照査を行うこと。

また、支承アンカー一部照査を行い、支承縁端において必要な強度を確保することとする。

照査は「道路橋示方書Ⅳ8.6」により行うものとし、照査を満足しない場合は、縁端拡幅等が必要となるため、その検討に要する費用は別途監督員と協議するものとする。

2-7-3 支承取替時の既設支承の照査

施工時には既設支承を取り除くことにより、橋梁全体として支承個数が減少することとなる。鉛直力についてはジャッキで支持しているが、ジャッキには水平力支持機構が無いため、残っている支承で水平力を支持することが可能であるか照査を行わなければならない。格子解析を追加する場合は、その費用について別途監督員と協議するものとする。

照査は建設時の道路橋示方書と同等の設計水平震度により算定した水平力により行うこととして良い。

なお、照査を満足しない場合は別途仮設の固定装置を設けるものとし、その検討に要する費用は別途監督員と協議するものとする。

2-7-4 対象橋梁及び種別

(1) 種別

設計の種別及び内容、設計区分は下表のとおりとする。

種別	設計内容	図面の区分	備考
維持修繕設計 支承A	基本となる設計	詳細設計	
維持修繕設計 支承B	基本となる設計が準用できるもの	詳細設計	

(2) 対象橋梁

設計の対象橋梁及び箇所は下表のとおりとする。

橋梁名	上下線区分	対象箇所	支承種類	項目区分
砂川橋	上り線	A 1	F	支承A
		A 2	M	支承B
大井橋	上り線	A 1	M	支承A
		A 2	F	支承A
今福高架橋	上り線	A 2	M	支承A
久保川橋	下り線	A 2	M	支承A
高麗川橋	上り線	P 5	M	支承A
		P 6	M	支承A
		P 7	F	支承A
	下り線	A 2	M	支承A
石橋高架橋	上り線	A 1	M	支承A
小山川橋	下り線	A 2	M	支承A

2-8 維持修繕設計 伸縮装置取替設計

維持修繕設計 伸縮装置取替設計とは、損傷により取替もしくは補修が必要な伸縮装置について、共通仕様書 7-3-3 (1) 橋梁付属物設計に示す設計内容を「設計要領第二集（橋梁保全編）」に基づき実施することをいう。この設計には、伸縮装置取替もしくは補修に必要なすべての設計計算、図面作成、数量計算を含むものとする。

維持修繕設計 伸縮装置取替設計の数量検測は設計を行った図面枚数（枚）とする。

橋梁名	対象箇所	既設伸縮装置種別	備考
越辺川橋	上り線 A 1 橋台	鋼製フィンガー	維持修繕設計 伸縮継手 設計区分：詳細設計 基本となる設計
今井高架橋	下り線 P 2 1 橋脚	ビーム型	
上伊草高架橋	上り線 A 2 橋台	ビーム型	

設計内容は下表のとおりとし、数量が変更になる場合は監督員と協議し、その数量及び費用について別途協議するものとする。

設計内容	数量
伸縮装置取替図	6 枚

2-9 施工計画検討

施工計画検討は、現地踏査及び本特記仕様書 2-7「維持修繕設計 支承」、2-8「維持修繕設計 伸縮装置取替設計」2-10「工事発注用図面作成」の結果を基に、監督員の指示に従って施工方法を立案し、補修施工に必要な仮設備計画及び進入路計画や規制方法等を含めた施工計画及び概略工程の検討を行うものとする。

施工計画検討の数量は、検討を行った橋梁数（橋）とする。

（1）種別

設計の種別及び内容、設計区分は下表のとおりとする。

種別	設計内容	地形条件	計画の複雑化	備考
施工計画検討A	箇所毎に制約条件が大きく異なり 施工箇所毎に計画する必要がある	平地部	複雑	橋梁耐震補強設計を準用
施工計画検討B	1 橋梁内の他施工箇所に計画を転用できる	平地部	単純	橋梁耐震補強設計を準用

（2）対象橋梁

設計の対象橋梁及び数量は下表のとおりとする。

種別	数量	橋梁名
施工計画検討A	3 橋	高麗川橋、越辺川橋、小山川橋
施工計画検討B	9 橋	砂川橋、大井橋、今福高架橋、久保川橋、共栄橋、高坂 S A 2 号橋、石橋高架橋、今井高架橋、上伊草高架橋

2-10 工事発注用図面作成

2-10-1 詳細図作成

工事発注用図面作成 詳細図作成は、対象橋梁の工事を行うために必要な図面作成を行い、「土木設計数量算出要領」に基づき数量算出を行うことをいう。

工事発注用図面作成 詳細図作成の種別および設計内容、枚数の内訳は下表のとおりとし、検測数量は作成した図面枚数（枚）とする。数量が変更になる場合は監督員と協議し、その数量及び費用について別途協議するものとする。

設計区分	数量	設計内容	橋梁名	備考
詳細図作成A	3 枚	鋼構造物補修図面作成	越辺川橋、小山川橋、牛沢橋	附帯工設計 詳細図作成等設計協議説明用図面作成 作成難易度：普通 数量計算
	1 4 枚	足場仮設図面作成	砂川橋、大井橋、今福高架橋、久保川橋、共栄橋、高麗川橋、越辺川橋、高坂 S A 2 号橋、石橋高架橋、小山川橋、牛沢橋	
詳細図作成B	2 枚	工事用道路作成 （記載内容） 橋梁一般図または平面図に進入路位置、幅員、占用面積、資材数量表、断面図等を記載	越辺川橋、小山川橋	附帯工設計 詳細図作成等設計協議説明用図面作成 作成難易度：複雑 数量計算

2-10-2 図面修正A

工事発注用図面作成 図面修正は、共通仕様書5-11-1「図面修正」に基づき、変状のある橋梁のコンクリート部材について「設計要領第二集（橋梁保全編）」に基づいて補修方法を選定し、工事発注のために必要とされる補修項目について設計し、図面修正を行うものとする。図面修正に併せて、「土木設計数量算出要領」に基づき数量算出も行うものとする。

図面修正の種別および設計内容は、下表のとおりとし、検測数量は、作成した図面枚数（枚）とする。

図面の区分	図面の修正率	設計内容	数量	橋梁名
比較的簡易な図面	10%未満	断面修復図	9枚	共栄橋、越辺川橋、高坂SA2号橋

2-10-3 既存図面電子化

工事発注用図面作成 既存図面電子化は、既存の手書き図面（TIFF）を電子化（CADデータ化）することをいう。既存図面電子化の検測数量は、電子化作業を行った図面枚数（枚）とする。

図面の区分	図面の修正率	設計内容	数量	橋梁名
比較的簡易な図面	10%未満	橋梁一般図	2枚	共栄橋、高坂SA2号橋
比較的簡易な図面	10%未満	伸縮装置詳細図	1枚	越辺川橋

2-11 工事発注用数量表作成

2-11-1 工事目的物別数量総括表

工事発注用数量表作成 工事目的物別数量総括表は、共通仕様書5-12-1「工事目的物別数量総括表」に基づき、工事毎に数量総括表を作成することをいう。

工事目的物別数量総括表の検測数量は、工事とする。

工事名	橋梁名	備考
R8年度所沢管内橋梁補修工事（仮称）	砂川橋、久保川橋、高麗川橋、石橋高架橋、小山川橋、今井高架橋、牛沢橋、上伊草高架橋	橋梁上部工及び橋梁下部工が混在する工事
R9年度所沢管内橋梁補修工事（仮称）	大井橋、今福高架橋、共栄橋、越辺川橋、高坂SA2号橋	

2-11-2 工事目的物別代価表

工事発注用数量表作成 工事目的物別代価表は、共通仕様書5-12-2「工事目的物別代価表」に基づき、工事毎に工事目的物別代価表を作成することをいう。

工事目的物別代価表の検測数量は、工事とする。

工事名	橋梁名	備考
R8年度所沢管内橋梁補修工事（仮称）	砂川橋、久保川橋、高麗川橋、石橋高架橋、小山川橋、今井高架橋、牛沢橋、上伊草高架橋	橋梁上部工及び橋梁下部工が混在する工事
R9年度所沢管内橋梁補修工事（仮称）	大井橋、今福高架橋、共栄橋、越辺川橋、高坂SA2号橋	

2-12 設計打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め10回とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や、業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱い監督員と受注者との協議の上、決定するものとする。

設計打合せの検測数量は、一式とする。

2-12-1 関係官公署等との協議

関係官公署等との協議は、原則として発注者が行うものとするが、下表の項目について監督員の指示がある場合は、受注者はこれに協力しなければならない。受注者は、協議案件に熟知した者を参加させるものとし、協議内容を直接理解し、業務履行の確実な進捗に努めなければならない。なお、これに要する費用は、別途協議するものとする。

対象橋梁	河川・水路名	協議先	想定される協議内容
砂川橋	砂川堀雨水幹線	埼玉県 荒川右岸下水道事務所	施工時制約が発生する場合、護岸背面掘削等関連協議等を実施
高麗川橋	一級河川高麗川	国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所 越辺川出張所	河川区域及び高水敷内足場設置等関連協議等を実施
越辺川橋	一級河川越辺川	国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所 越辺川出張所	河川区域及び高水敷内工事用道路設置等関連協議等を実施
小山川橋	一級河川小山川	埼玉県 本庄県土整備事務所	河川区域及び高水敷内工事用道路設置等関連協議等を実施 施工時制約が発生する場合、堤体掘削を伴う護岸一時撤去協議

2-1-3 交通費・宿泊費

2-1-3-1 交通費・宿泊費（現地調査）

交通費・宿泊費（現地調査）には、試料採取及び腐食減肉調査に必要な交通費・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費（現地調査）の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

試料採取及び腐食減肉調査は昼作業として、下表のとおり行うものとする。

現地区分	実施区分	備考
一般道（本線以外）	受注者（単独）	ライトバン（1500CC）

2-1-3-2 交通費・宿泊費（設計打合せ・現地踏査）

交通費・宿泊費（設計打合せ・現地踏査）には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費（設計打合せ・現地踏査）の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、WEB 会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費（設計打合せ・現地踏査）についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

現地踏査は昼作業として、下表のとおり行うものとし、維持修繕設計伸縮装置取替設計の対象橋梁および高坂SA2号橋は高速道路上から確認するものとする。

現地区分	実施区分	備考
高速道路（本線）	発注者（運転）、受注者（2名）	維持指定車両
一般道（本線以外）	受注者（単独）	ライトバン（1500CC）

2-1-4 成果品

2-1-4-1 標準提出部数

成果品の標準提出部数については、下表のとおりとする。

報告書及び図面の電子データについては、監督員に提出するものの他にそれぞれ1部を監督員の指示に従って、NEXCO総研技術情報課へ提出し、NEXCO総研の発行する成果品（電子データ）受領票の交付を受けなければならない。

なお、NEXCO総研技術情報課への提出は郵送で行うものとし、成果品（電子データ）受領票については、NEXCO総研より電子メールにより受注者へ送付されるものとする。

項目	監督員	NEXCO総研	備考
報告書（紙）	1部	—	
報告書（電子データ）	2部	1部	
図面（紙）	1部	—	
図面（電子データ）	2部	1部	報告書（電子データ）と併せて提出

2-14-2 成果品一覧

本業務の成果品は、下表のとおりとする。

種別・項目	成果品項目	出力時の縮尺 (分の1)	出力用紙 の大きさ	提出 部数	適用
腐食減肉調査	調査結果報告書	—	A 4	1	製本
塩分浸透量調査	塩化物イオン濃度分析結果報告書	—	A 4	1	製本
	塩分移動量予測結果報告書	—	A 4	1	製本
支承	支承補修図	適宜	A 3	1	
伸縮装置取替設計	伸縮装置詳細図	適宜	A 3	1	
詳細図作成 A	足場仮設図	5 0 0、1 2 5 0	A 3	1	
	鋼構造物補修図	適宜	A 3	1	
詳細図作成 B	工事用道路仮設図	適宜	A 3	1	
図面修正 A	断面修復図	適宜	A 3	1	
既存図面電子化	橋梁一般図	5 0 0、1 2 5 0	A 3	1	
	伸縮装置詳細図	5 0 0、1 2 5 0	A 3	1	
数量計算書	数量計算書	—	A 4	1	製本
施工計画検討	施工計画検討結果報告書	—	A 4	1	製本
	施工計画図	適宜	A 3	1	

第3章 補足事項

本業務においては、以下に示す項目について、追加・変更及び数量の増減を行う場合がある。これに要する費用については、別途監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

- (1) 特記仕様書 2-5 以外の塩分浸透量調査の追加
- (2) 施工計画の決定後、当該施工計画にあたり不要又は支障となる排水管、橋梁付属物等の撤去、移設、再設置のための図面作成及び数量算出
- (3) 点検結果に基づく図面作成及び数量算出の追加
- (4) 関係機関協議に基づく測量、現地調査、図面作成及び各資料作成等の追加
- (5) コンクリート構造物の現地調査及び現地踏査結果に基づく変状詳細調査の追加
- (6) 鋼構造物の現地調査及び現地踏査結果に基づく応力度照査等の追加

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 関東支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 所沢管理事務所管内 R 7 年度橋梁補修設計

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

1 設計業務

項 目	日 程	計画準備	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			備 考
			10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
1. 設計計画																														
2. 既往資料の確認・整理																														
3. 現地調査																														
4. 設計条件の整理																														
5. 道路詳細設計																														
①縦断設計																														
②平面図作成																														
③縦断図作成																														
④横断図作成																														
⑤土積図作成																														
⑥用排水設計																														
6. 附帯工設計																														
①溝渠工設計																														
②擁壁工設計																														
③詳細図作成																														
④図面修正																														
7. 数量計算																														
8. 概略施工計画																														
9. 施工への送り事項																														
10. 照 査																														
11. 報告書作成																														
12. 監督員による成果品確認																														
13. 電子成果品作成																														
14. 設計打合せ																														
15. 業務検査																														

2 関連業務資料

項 目	日 程	実施の有無	実施時期	○月				○月				○月				○月				○月				○月				○月				○月				○月				備 考
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30							
1. 測量調査																																								
・基準点測量		有・無	○年○月～○年○月																																					
・空中写真測量		有・無	○年○月～○年○月																																					
・数値地形測量		有・無	○年○月～○年○月																																					
・航空レーザー測量		有・無	○年○月～○年○月																																					
2. 道路予備設計		有・無	○年○月～○年○月																																					
3. 道路概略設計		有・無	○年○月～○年○月																																					
4. 路線測量		有・無	○年○月～○年○月																																					
5. 地質調査（1次）		有・無	○年○月～○年○月																																					
6. 構造物計画設計		有・無	○年○月～○年○月																																					
7. 地質調査（2次）		有・無	○年○月～○年○月																																					
8. 地形測量		有・無	○年○月～○年○月																																					
9. 協議用図面作成		有・無	○年○月～○年○月																																					
10. トンネル設計		有・無	○年○月～○年○月																																					
11. 幅杭設計		有・無	○年○月～○年○月																																					
12. 用地幅杭設置測量		有・無	○年○月～○年○月																																					
13. 構造物基本設計		有・無	○年○月～○年○月																																					
14. 構造物詳細設計		有・無	○年○月～○年○月																																					
15. 地盤補足調査		有・無	○年○月～○年○月																																					

3 貸与資料

項 目	日 程	貸与の有無	貸与時期	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
①地形図（1/1000, 1/500）		有・無	契約締結から7日間以内																															
②実測縦断面図		有・無	契約締結から7日間以内																															
③実測横断面図		有・無	契約締結から7日間以内																															
④座標計算書		有・無	契約締結から7日間以内																															
⑤概略設計成果品		有・無	契約締結から7日間以内																															
⑥協議用図面作成成果品		有・無	契約締結から7日間以内																															
⑦幅杭設計成果品		有・無	契約締結から7日間以内																															
⑧土地調査結果報告書		有・無	契約締結から7日間以内																															
⑨橋梁・トンネルの成果品		有・無	令和○年○月予定																															
⑩関連事業計画資料		有・無	契約締結から7日間以内																															
⑪詳細測量図（1/200）		有・無	令和○年○月予定																															
⑫設計協議資料		有・無	契約締結から7日間以内																															

4 関係機関協議

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
①交差管理者協議																															
道路	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
河川	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
鉄道	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
用水路	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
排水路	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
水道	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
下水道	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
電力	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
電話	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
②形式協議	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
③警察協議	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
④地元協議	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												
⑤その他懸案事項協議	有・無	○年○月～○年○月	発注者																												

4 その他懸案事項

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	○月	
-----	-------	------	-----	----	--

監督員 _____ 殿

受 注
管理技術者 _____ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名	東日本高速道路(株) 関東支社 所沢管理事務所		
調 査 等 名	所沢管理事務所管内 R 7 年度橋梁補修設計		
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。